

令和4年度 特別支援学級教育計画

(1) 特別支援学級の教育目標

- ① 基礎的な学力を身に付けさせ、豊かな情操を養う
- ② 基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会的自立の基礎として生活力を育てる
- ③ 健康な身体と、興味をもって、根気強くやりぬく意欲を育てる
- ④ 人と豊かにかかわり、協力する態度を養う。

(2) 教育目標を達成するための基本方針（抜粋）

学校生活支援シートを踏まえて個別指導計画を作成し、適切な指導と必要な支援を具体的に示しながら基礎的な学力を身に付けていきます。この計画を基に、全教職員が個々の生徒への共通理解を図り、必要に応じて合理的な配慮をしながら指導にあたります。

(3) 目標達成のための特色ある教育活動

- ① 学校と家庭が日課帳などで生徒の情報を常に共有することにより、連携を密にし開かれた学校づくりに努めます。
- ② 学校生活支援シート・個別指導計画を作成し、個々の障害の実態と課題を共通理解して、障害を克服・改善するための指導を総合的に行います。
- ③ 学校生活支援員については、生徒の安全管理および生徒の心身の安定を図ることをねらいとし、生徒の発達段階に応じたきめ細やかな配慮ができるように、日頃から情報を共有し、有効に配置します。
- ④ 小学校との校区别協議会や特別支援学級小中部会などを通じて情報交換を行い、連続性のある継続的な指導に努めます。
- ⑤ 学校教育支援センター、練馬子ども家庭支援センター、主治医などの関係諸機関との連携を密にします。
- ⑥ 「学校2020レガシー」の推進として、朝の時間を活用し、体力向上を目的とした活動を実施し健康教育の充実を図ります。また、日本および諸外国の伝統文化に関する学習を取り入れることで豊かな国際感覚を育み、日本人としての自覚と誇りをもちます。

(4) 今年度の教育内容と週時数

国語	4時間	6グループに分け、読み書きを中心に表現力を育成する。
社会	1時間	身近な地域、基本的な地理や歴史の知識を身に付ける。
数学	4時間	6グループに分け、数量やお金、時計など日常生活に必要な力を育成する。
理科	1時間	身近な科学的ことについて理解を深める。
英語	1時間	身近な英単語を学び、簡単な会話を修得し、英語に親しむ。
音楽	2時間	歌唱、演奏を通して、情操を養うとともに、表現する喜びを体験する。
美術	2時間	絵画、版画などの作品を作り、表現する喜びを体験する。
体育	4時間	基礎的な体力の向上を図りながら運動を楽しみ、集団の中でのルールを守り、協力する態度を養う。
技術	2時間	基本的な道具の使い方と技術を覚え、木工作品を製作する。
家庭	2時間	日常生活に必要な衣・食・住などの理解と技能を養う。
総合	2時間	生きる力を身に付けることを目標とした活動に取り組む。
学活	1時間	集団の中で話したり聞いたりする力や自治の力を身に付ける。
道徳	1時間	規範意識、思いやりの心などをはぐくむ。
生単	2時間	宿泊学習、学習発表会などの行事に向けて事前学習、事後学習をする。
作業	2時間	園芸や裁縫、清掃活動などを通して、作業能力を養う。

(5) 行事

宿泊行事は夏季の移動教室が2泊3日、冬季のスキー移動教室が2泊3日です。その他、特別支援学級の行事として、八校合同文化発表会、お別れ会などがあります。

(6) 指導にあたって

特別支援学級では一人一人の障害やニーズを把握し、全教職員が共通理解を図り、生徒の社会的自立を目指して支援するとともに、豊かな人間関係を築く中で楽しい学校生活を送れるよう指導しています。